

☆平成24年度「東京都中小企業両立支援推進助成金」 の募集について☆

東京都中小企業両立支援推進助成金の概要

「東京都中小企業両立支援推進助成金」は、都内に本社をおく労働者数300人以下の中小企業等が行う労働者の仕事と子育てなど家庭生活の両立を図るための取組にかかる経費について助成を行うもので、東京都独自の助成制度です。

「両立支援推進責任者」を設置したうえで、社内での意識啓発や、就業規則の整備など社内ルールづくりに取組む場合、経費の一部を助成します。また、育児休業取得者の代替要員を措置した場合や、育児のための短時間勤務制度利用者がいる場合にも助成を行います。※助成金申請前に「とうきょう次世代育成サポート企業」への登録が必要です。

助成金の種別	助成率・限度額	募集期間
社内ルールづくり助成金	2分の1・ 限度額50万円	5月17日～10 月31日
育児休業応援助成金	2分の1・ 1人あたり限度 額150万円	5月17日～12 月21日
育児短時間勤務制度 利用促進助成金	定額・30万円	

※予算の範囲を超えた場合は、募集期間内でも受付を終了します。

助成金の受付は、担当地域の東京都労働相談情報センター各事務所で行います。詳しくは、担当者までお尋ねください。

★平成24年度労働保険の年度更新について★

平成24年度の労働保険の年度更新は6月1日(金)から7月10日(火)までです。東京労働局労働保険徴収室又は最寄りの労働基準監督署、若しくは日本銀行歳入代理店の金融機関か郵便局(但し、口座振替のご利用者を除く)で申告・納付を行います。お手元に書類が届きましたら、担当者までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

☆コラム(飯島のつぶやき) ☆

ありがとうBOX

当事務所では、1年前より「ありがとうBOX」という箱を事務所内に設置しています。そして、そのBOXの隣には「ありがとうカード」というメモの紙が備えてあります。

このBOXは、桐の箱でできており、「ありがとうカード」が入れられるくらいの隙間が開いています。選挙時の投票箱のような感じです。

やり方は至って簡単。そこに入れる「ありがとうカード」には、まず、「〇〇さんへ」と相手の名前を書きます。次に、感謝の気持ちの内容を具体的に書きます。最後に、自分の名前を書きます。その月に自分が他の社員から受けたことに対して感謝の意を表すものです。内容は、特に制限はありません。

そして毎月末の月例会議で、BOXを開票します。会議室に全員集まり、総務担当が一枚一枚を読み上げます。例えばこんな感じです。

「〇〇さんから〇〇さんへ。A社の質問について一緒に調べものを手伝ってくれてありがとう。」や「△△さんから××さんへ。残業した帰りにらーめん屋さんでご馳走してくれてありがとう。」などなど。

この読み上げに合わせて別の者がエクセルで作ったマトリックスにポイントを入力していきます。このマトリックスはプロジェクターで映し出され、全員で見ることが出来ます。

先月末は、全部で195枚のありがとうカードがBOXに入っていました。集計が終わると、いちばんありがとうを言われた人と、いちばんありがとうを言った人が一目で分かるようになっていきます。

そして、その月にいちばんありがとうを言われた人に対して事務所から1000円の商品券を渡し、皆で拍手をします。

たったそれだけのことですが、とても心が和みます。また、社員同士で助け合って、面倒をみ合っているのが分かります。一度お話しあれ。

今月の一言

『利益は「ありがとうを言ってもらった数」から「ありがとうを言った数」を引いた数のこと。』

八天堂のクリームパンやnicoドーナツを展開している大阪のトレジャーランド社長、長瀬二郎氏の言葉です。資本金1000万円、売上高23億円(前期)30億円(今期予定)、未上場、社員50名の会社です。他に「SoonやなくてNowや」などの有名な文句もあります。